

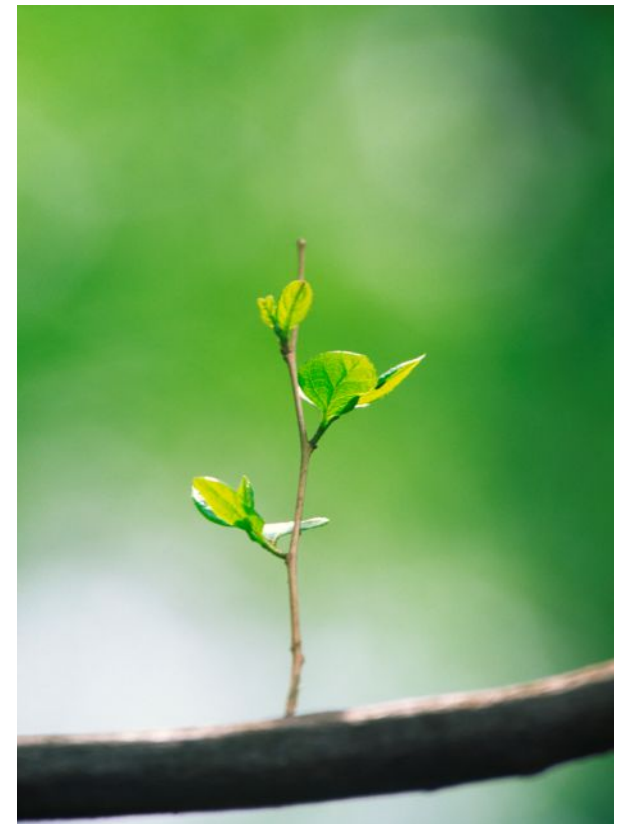
**インマヌエル中目黒キリスト教会**  
**2010年4月11日**  
**聖日礼拝**

イースターからペンテコステへ

**「心が内に燃える」**

ルカの福音書24章13-17節

竿代 照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

ルカの福音書24章13-17節  
及び25-35節

13 ちょうどこの日、  
ふたりの弟子が、  
エルサレムから  
十一キロメートル余り離れた  
エマオという村に  
行く途中であった。

14 そして、  
ふたりでこのいっさいの出来事  
について話し合っていた。

**15** 話し合ったり、  
論じ合ったりしているうちに、  
イエスご自身が近づいて、  
彼らとともに  
道を歩いておられた。

**16** しかしふたりの目は  
さえぎられていて、  
イエスだとはわからなかった。

17 イエスは彼らに言われた。

「歩きながら

ふたりで話し合っている

その話は、

何のことですか。」

すると、

ふたりは暗い顔つきになって、

立ち止まった。

**25** するとイエスは言われた。

「ああ、愚かな人たち。

預言者たちの言ったすべてを  
信じない、心の鈍い人たち。

**26** キリストは、必ず、

そのような苦しみを受けて、

それから、

彼の栄光にはいるはずでは  
なかったのですか。」

27 それから、イエスは、  
モーセおよびすべての預言者  
から始めて、  
聖書全体の中で、  
ご自分について書いてある  
事がらを  
彼らに説き明かされた。

**28** 彼らは目的の村に近づいたが、イエスははまだ先へ行きそうなご様子であった。

**29** それで、彼らが、「いっしょにお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もおおかた傾きましたから。」と言って無理に願ったので、イエスは彼らといっしょに泊まるために中にはいられた。



**30** 彼らとともに食卓に着かれると、  
イエスはパンを取って祝福し、  
裂いて彼らに渡された。

**31** それで、彼らの目が開かれ、  
イエスだとわかった。  
するとイエスは、  
彼らには見えなくなった。

**32** そこでふたりは話し合った。

「道々お話しになっている間も、  
聖書を説明してくださった間も、  
私たちの心は  
うちに燃えていたでは  
ないか。」

**33** すぐさまふたりは立って、  
エルサレムに戻ってみると、  
十一使徒とその仲間が集まって、

**34** 「ほんとうに主はよみがえって、シモンにお姿を現わされた。」  
と言っていた。

**35** 彼らも、  
道であったいろいろなことや、  
パンを裂かれたときに  
イエスだとわかった次第を  
話した。

# 説教

イースターからペンテコステへ

「心が内に燃える」

ルカの福音書**24章13-17節**

及び**25-35節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「道々お話しになっている間も、  
聖書を説明してくださった間も、  
私たちの心は  
うちに燃えていたでは  
ないか。」

**(ルカ24：32)**

はじめに：

イースターからペンテコステへの  
移行期間

## A. 共に歩み給う主

- ・ 共におられる聖霊

= 共に歩み給う主

(ヨハネ14 : 16)

- ・ エマオ途上の二人
- ・ 見知らぬ旅人
- ・ 二人の悩み

## B. 聖書を解き明かされる主

- 「愚かで鈍い」との指摘
- 救い主は苦しみ、死ぬべきこと
- 甦るべきこと
- 「エマオで泊まろう」
- 聖書を解き明かす聖霊

**(ヨハネ14:26)**



## C. 心を燃やされる主

- 食卓の祈りと開眼
- 燃えていたことを思い出す
- 良きおとずれを伝える

終わりに：

ジョン・ウェスレーの経験と  
リバイバル